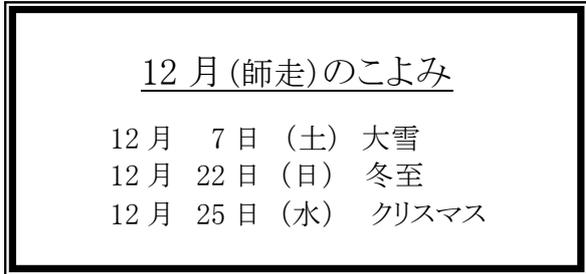
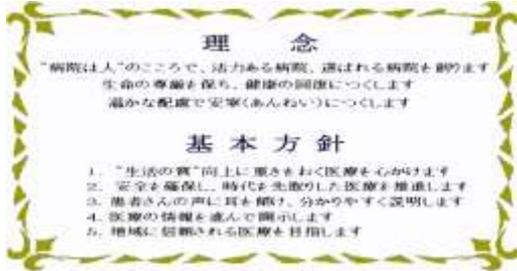




令和 元年 12月 1日 発行
KKR札幌医療センター
〒062-0931
札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40
電話(011)822-1811
<http://www.kkr-smc.com>

(2019-12号)



耳鼻咽喉科で診る病気

耳鼻咽喉科 實川 純人

耳鼻咽喉科は耳・鼻・のどの病気を診察しています。今回は耳鼻咽喉科で診察している病気の中から、耳鼻咽喉科で診察していると認識されづらい病気について、幾つか紹介させていただきたいと思います。

① 顔面神経麻痺

ある日突然、顔の左右どちらか半分の動きが悪くなります。「頭」が原因で生じることもあります。「おでこのしわ寄せ」ができるか否かが大切です。「おでこのしわ寄せ」ができる場合は「頭」の病気の可能性が高く、「脳神経外科」の受診をお勧めします。「おでこのしわ寄せ」ができない場合は「耳鼻咽喉科」を受診ください。原因の多くはウイルスの関与と考えられています。早期治療が大切で、重症度に応じて、入院加療をお勧めしています。

② めまい

ある日突然、ぐるぐると目が回ります。吐き気を伴うことが多いです。脳梗塞などの「頭」の病気が原因のこともあるため、当院ではまず「脳神経外科」を受診していただき、「頭」の病気ではないか確認の上、「耳鼻咽喉科」に受診していただいています。寝返りの際に強いめまいが数十秒生じる場合や、耳鳴・難聴がめまいと一緒に生じた場合は「耳」の病気の可能性が高いと思います。ぜひ御相談ください。

③ 甲状腺腫瘍

甲状腺は首の前側、のどぼとけのすぐ下にあり、生きていくために必要な甲状腺ホルモンを作っています。そこにできたできものが「甲状腺腫瘍」です。小さい場合は何も症状がなく、検査で偶然、指摘される場合も多いです。ある程度大きい場合は頸部の圧迫感やしこりとして自覚されることもあります。良性腫瘍もありますが、悪性腫瘍もあり、甲状腺エコー検査をお勧めさせていただきます。

④ のどの癌

のどの癌を診察しています。咽頭癌、喉頭癌に分類されます。なかなか改善しないのどの痛みや声がれがある場合は、ぜひ御相談ください。即日、比較的細いカメラ（喉頭ファイバー検査）にて、のどを診察させていただきます。

当院は≪敷地内全面禁煙≫となっております

患者サポートセンター 地域連携室のご紹介

患者サポートセンター看護主任 山本 しのぶ

KKR 札幌医療センターをご利用いただきありがとうございます。正面玄関からすぐの場所に「地域連携室」という案内版を目にされてたことがある方は多いと思いますが、どのようなことをしているのかご存じの方は少ないと思います。ここでは「地域連携室」の役割についてご紹介いたします。

地域連携室は、地域の病院・クリニックを通じて患者さんと当院をつなぐ役割を担っています。地域の病院・クリニックに通われている患者さんが当院の受診を希望された場合、かかりつけ医より患者さんの情報を地域連携室へご連絡いただき、該当科の受診予約の調整をしています。受診予約をすることで当日の診察がスムーズになり、予約なしで受診されるよりも待ち時間が少なく患者さんのご負担も少ないと考えます。当院のご利用をお考えの場合は、かかりつけ医を通してのご予約おすすめします。

また、地域連携室では、当院に受診され病状が安定した患者さんへかかりつけ医となる病院・クリニックをご紹介する役割も担っています。かかりつけ医がいらっしゃる患者さんはかかりつけ医へ、どこに行ったらいいのかわからないという患者さんは看護師がお話を伺い、ご希望や疾患を踏まえて新たなかかりつけ医を探すお手伝いをさせていただいております。

当院への受診、かかりつけ医のご相談等お気軽に地域連携室へお越しください。

【お知らせ】

当院は初めて受診される場合、患者さんご自身からの電話予約は受け付けておりませんでした。

この度、10月より2次検診については、患者さんご自身からのお電話にて予約をお取りできるようになりました。対象は健康診断や人間ドックで「精密検査や医療機関での治療が必要」という検査結果用紙をお持ちの方です。事前に予約していただいた方が、予約なしよりも待ち時間が少なくなります。ぜひ、お電話にて予約していただきますようお願い申し上げます。

(尚、当院健康管理センターにて人間ドックを行った方は、健康管理センターにて承ります)

<受付時間・連絡先>

平日 午後2時～5時

2次検診専用予約ダイヤル 011-832-3828 (地域連携室直通)